

第16回人間文化研究情報資源共有化研究会（オンライン開催）

第4期人文系情報基盤への期待

事前
受付



<https://forms.gle/JWuw1oTGTtB7xCxS8>

国立歴史民俗博物館
国文学研究資料館
国立国語研究所
国際日本文化研究センター
総合地球環境学研究所
国立民族学博物館

13:20 あいさつ 趣旨説明

大内英範 特任准教授（人間文化研究機構）

13:30-14:30 「人間文化研究機構の情報関連事業第三期後半における 基本方針」
に基づく高度連携システムのデータ構築計画に関する報告

- ・日本の歴史的な知識に対して総合的に寄与する人名知識ベースの構築
後藤 真 准教授（国立歴史民俗博物館）
- ・「平安人物志」を用いた人名データの構築
関野 樹 教授（国際日本文化研究センター）

14:40-15:40 データ連携の課題と解決、「ジャパンサーチ」の現場から

- ・ジャパンサーチの構築とメタデータ連携
奥田 倫子 氏（国立国会図書館）
- ・ジャパンサーチ利活用スキーマへのマッピングとデータ連携
神崎 正英 氏（ゼノン・リミテッド・パートナーズ代表）

15:50-16:50 パネルディスカッション：「第4期人文系情報基盤への期待」

司会・鈴木 卓治 教授（国立歴史民俗博物館）

16:50 閉会あいさつ

永村眞 理事（人間文化研究機構）

人間文化研究機構の第4期中期計画・目標期間がはじまる2022年4月を約1年後にひかえ、情報事業のあり方についても検討が進められています。機構内各機関のデータベースを集積し、横断検索に供するのが主目的であった高度連携システム「nihuiNT」はその機能・役割を再検討し、新たに情報事業全体を下支えする検索システムの開発が進められる予定です。特に、データをより利活用しやすくしたり、他のデータやシステムとより連携しやすくすることが検討されています。今回の研究会は、そうした来るべき第4期を見据えて、より利活用・連携しやすい人文系情報基盤について議論します。



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

2021/3/12(金)
13:20-17:00